

AgriPoucher® LINE UP

野菜・植物を育てる アグリポーチ



ポーチのみのご購入もできます。
詳しくはオンラインショップをご覧ください。

AgriPoucher ポーチ 栽培キット

おうちのベランダや屋上で野菜やハーブを育てられるキット。土は農業・化学肥料・動物性肥料不使用。土の専門家と特別にブレンドしたオーガニック園芸培養土。種は有機種子、固定種です。

セット内容	AgriPouch、オーガニック培養土、 種(有機種子、固定種)、園芸ラベル
Sサイズ：直径21cm／高さ21cm／持ち手幅4cm	約10ℓの土が入ります ブラック・グリーン
Mサイズ：直径28cm／高さ24cm／持ち手幅4cm	約20ℓの土が入ります ブラック・グリーン
Lサイズ：直径40cm／高さ33cm／持ち手幅4cm	約40ℓの土が入ります ブラック

堆肥をつくる コンポスト



トートバッグ型



シェイク

AgriPoucher コンポスト キット

キッチンから出た生ごみを「捨てる」から「育てる」へ。生ごみを微生物の力を借りて分解・発酵し、堆肥へ変えるキットです。特有の臭いも抑えられ、室内でもお使いいただけます。

セット内容	コンポストバッグ、 コンポスト基材・クロ、コンポスト基材・シロ
トートバッグ型：直径33cm／高さ30cm／持ち手幅4cm	グリーン
シェイク：直径21cm／高さ26cm／持ち手幅3.8cm	ブラック・グリーン

基材のみのご購入もできます。
詳しくはオンラインショップをご覧ください。

ONLINE SHOP
お求めはこちらから



困ったときはすぐ相談

Instagram

公式LINE



<https://chikyu-labo.com/agripoucher-special>

株式会社 地球Labo

〒530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜1-4-4 アクア堂島フロンターナ3階

vol.
3

育てる、食べる、種を蒔く

ちいさな 循環生活

AgriPoucher®
regeneration of the earth



育てる、食べる、種を蒔く

ちいさな循環生活にまつわる8つのTIPS

都市のベランダや屋上で、気軽に野菜づくりが出来るようにしよう。

野菜づくりの堆肥は、キッチンから出る生ごみや野菜クズ。

その堆肥でまた野菜を育て、食べて、種をとり、蒔いて…。

そんなちいさな循環が家の中から生まれ、その輪が広がっていくと、

とても豊かな未来が待っていると思うのです。

そんな思いからAgriPoucher®ははじまりました。

01



堂々の世界第2位に ランクイン！

日本のプラスチックごみ排出量は年間約850万トン。なんと、日本はアメリカに次いで世界第2位の「プラスチックごみ大国」なんです。AgriPoucher®では「捨てる資源」を有効活用。国内PETをリサイクルした、オシャレで丈夫な素材を使っています。

何コレ、強っ！

って声に出して言いたいぐらい、耐久性と耐候性がとんでもない素材を使用。いろんな場所で、いろんな人を助けてる、特殊素材で作っています。

※耐候性…屋外で使用された場合に、変形、変色、劣化などの変質を起こしにくい性質。



03



職人の手仕事、ここにあり。

キットはひとつひとつ、職人が縫製しています。工業用ミシンでなければ縫えない丈夫な特殊生地を、熟練の職人の技でさらにしっかり縫い上げた逸品。日本の技術ここにあり。

04



まるで宝物を詰めるように、 大切に、人の手で。

土を機械で混ぜると、化成肥料やその他の原料が混入する可能性があるため、土はすべて人の手で丁寧に混ぜて詰めています。

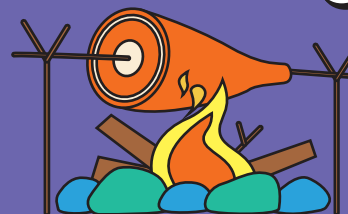
05

まるまるぜんぶ、 Made in NIPPON.

環境に配慮して作られた商品も、海外製だと輸送プロセスでCO2を排出します。でもそれって意味あるのかしら。そう考える私たちのキットはすべて日本製。リサイクルするプラスチックごみも、すべて日本で出たものです。



06



煮ても焼いても食べは しないけど、悪さはしません。

AgriPoucher®のキットは燃やしても有害物質を出しません。役目を終えたそのあとも環境負荷がかからない設計だから、燃えるゴミで処分できる。同じ使うなら、地球にやさしい材質を。

07



クソ真面目なノリで、 環境問題を語らない会社。

環境志向や健康志向って素晴らしい。でも、クソ真面目にそれを語るのって楽しくない。楽しくないと続かない。続かないと意味がない。だから地球Laboでは今日も、楽しくポップに、オシャレに真面目に、環境問題を考えています。

08

ベランダではじめる、大人の自由研究。

子どものころの自由研究って、大人になった今考えてみると、なんだか楽しそうと思いませんか。意外かもしれませんが、コンポストキットは臭いしません。微生物の力で分解・発酵を行うから。ポーチキットは翌年もその翌年もずっと、実のなる種がとれる固定種です。さあ大人の自由研究、ベランダではじめてみませんか。





Agripoucher® POUCH



Agripoucher® COMPOST



野菜や植物を育てる楽しさと喜びを
ぜひ体験してみましょう。
時には育たないという学びもあります。
五感をフルに使って育てたものを収穫する喜びは格別です。
収穫の後は種を採取してみましょう。

植 育

AgriPoucher®

3つの

しよくいく

食 育

殖 育

どこでどんなふうに種が蒔かれ、育ち、
自分達の口に入るのか。
AgriPoucher®を通じて、
食卓にのぼるまでの
ストーリーに興味を持ち、
美味しいものを食べる喜びや
楽しさを育みます。

食べた後の生ごみや
野菜クズはコンポストへ。
見えない微生物のチカラを借りて
土の栄養に変える
マンションのベランダやオフィスからはじまる、
そのちいさな循環が
心地いい未来をつくります。



種の蒔き方を
動画でチェック



POUCH

地球もわたしも みんなが心地いい 新しい都市型農業

おうちのベランダや屋上で野菜の成長を感じ、
愛情を込めて育てた野菜を食べる。
命を育て、いただくことが身近になると
自分にも、世の中にも、きっとやさしくなれるはず。



様々な野菜の収穫に適した
うれしい3サイズ展開

気軽に始められるSサイズから、根菜も
育てられるLサイズまで、さまざまな野菜
が収穫出来るサイズ展開です。



持ち運びに便利な軽さと、
安心のタフさを兼ね備えています

繰り返し使用していただけるよう、耐
久性・耐候性にもこだわりました。
さっと持ち運べる軽さも魅力です。



根っこに空気と水をたっぷり。
そんな素材をとことん追求

植物にとって大切な根の成長に必
要な、通気性と透水性がよい特殊な
素材を使用しています。

土 について

農薬・化学肥料・動物性肥料不使用。土の専門家と
特別にブレンドしたオーガニック園芸培養土。食物連鎖
への配慮と、作る人・食べる人に安心をお届けします。

種 について

有機種子、固定種を使用。化学肥料や農薬も一切使用
せず、完全有機農法で育てられた作物から採取され、採取
後の消毒もされていない持続可能な種です。



使い方を
動画でチェック



COMPOST

殖 食

「捨てる」から 「育てる」へ変える ぐるぐる循環生活

生ごみを「捨てる」から「育てる」に変えることで、
キッチンから小さな循環が生まれ、
ヒトも地球も笑顔になれる社会が
この先もずっと続くことを願って誕生しました。



おしゃれでコンパクト。
置く場所を選ばないすぐれもの

お部屋の片隅に置いても映えるおしゃれなトートバッグ型と、コンパクトで気軽に始められる「シェイク」の2タイプ。



ファスナーがしっかり閉まり
臭いが気にならない設計

しっかりした素材と密封性で、臭いを気にせず、室内でも快適にコンポストをご使用いただけます。



リングファスナーまで
すべてがリサイクル素材です

カラフルなリングファスナーまで再生ポリエステル原料を使用したリサイクルファスナーです。

「これで大丈夫?」「初めてで使い方がわからない」
不安なときはLINEでお気軽にご相談ください。

コンポストを続ける上での不安や悩みを、リモートでサポートいたします。
LINEやFacebookで直接ご質問ください。
一緒にコンポスト生活をしましょう。

＼ 困ったときはすぐ相談 /

公式LINE

Instagram



生ごみが、堆肥になって、 花になって、人が集まる。

Hanakuru 宝来橋 資源循環プロジェクト(宝塚市)



宝塚駅と温泉街をつなぐ、まちのシンボル「宝来橋」。多くの人が行き交い、長く親しまれてきたこの場所も、時の経過とともに花壇は少しずつ寂しくなっていました。「この場所を、もう一度みんなの手で元気にしたい。」行政に任せるだけではなく、地域に暮らす人、働く人、訪れる人が一緒になって、まちの風景を育てていく。そんな想いから始まったのが「Hanakuru」です。橋のたもとに立つホテル若水をはじめ、エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社、地球Labo、宝塚市、そして地域の皆さんがつながり、「この橋を何とかしよう」という小さな一歩を踏み出しました。家庭や事業所から出る生ごみをコンポストで堆肥に変え、その恵みを花壇の土へ。捨てればごみになるものが、土を育て、花を咲かせ、まちの景色をつくっていく。

5月10日のキックオフには、40名を超える仲間が集まりました。固く乾いた土を耕し、花を植え、そこから始まった日々の水やりには、子どもたちや地域の方々も参加。猛暑の中でも、一人ひとりの小さな手が花を支え続けました。これまでの参加者は、延べ1,000人を超えます。花が咲いたのは、花壇だけではなく。人と人とのつながり、地域への愛着、そして「自分たちのまちを、自分たちの手で育てる」という想いも、少しずつ「笑顔の花」を咲かせています。Hanakuruは、生ごみから花を育てるだけのプロジェクトではありません。暮らしの中から生まれる小さな循環を、まちの未来へつないでいく。宝来橋から、そんな新しい風景が始まっています。

名前の由来

人が「来る・集まる」、資源が「巡(クル)」る。ミツバチや小さな生き物も遊びに来るような、あたたかい「わ」を地域で育てたい、という願いから。

堆肥のチカラ、実証中

同じマリナーゴールドで比較したところ、堆肥入りの土で育てた方が見違えるほど元気に。栄養の力を、見た目でも実感できました。



2026年度 グッドデザイン賞受賞 食との関わりから、地域の未来を編み直す

「今日のごはんは、どこから来たんだろう。」「食べ終わったあとは、どこへ行くんだろう。」
そんな小さな問いから、「食とわ」は始まりました。

地球Laboは、2022年からエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社の共創パートナーとして、地域の皆さんと食を通じたつながりを育んできました。2025年1月には、これまでの活動を「食とわ」として統合。コンポストチャレンジには延べ800世帯、約3,000名が参加し、家庭から出る生ごみ約3tを堆肥へと変えてきました。生ごみから生まれた堆肥は、野菜や草を育て、動物園では動物たちの食を支え、駅のホームや地域の花壇へ。捨てるはずだったものが、次の「食」や「暮らし」を育てています。食の「もったいない」を語り合い、地域のシェフと料理し、みんなで食べる。そこから、コンポスト部「ゆびとまと」のような新しいつながりも生まれています。

私たちが目指すのは、自然を守るだけではなく、人の暮らしも、地域も、自然も、一緒に豊かになっていくネイチャーポジティブな未来。「食べる。育てる。つくる。分かち合う。」いつもの暮らしの中にある小さな選択が、未来を変えていく。AgriPoucher®コンポストは、その一歩を楽しみながら始めるための道具です。地球Laboは、食から生まれる「つながり」を大切に、心地よく続けられる循環を、地域から育てていきます。

TOPICS | 03 コンポストリニューアル!

コンポスト、 着実に進化しています。

使うたびの「ちょっと不便」をひとつずつ解消。
もっと気軽に、もっと長く使える
コンポストになりました。

持ち手をより丈夫な テープ仕様に

生ごみが入って重くなっても安心。毎日の持ち運びがさらにラクに。

スコップ 収納ポケットを新設

「あれ、スコップどこいった?」から解放。バッグ本体に収納ポケットをつけました。



箱を開けた瞬間から、地球とつながる冒険がはじまる

お届けする段ボールを新しくしました。箱を手にしたとき、胸が高鳴るような「わくわく」を感じてもらいたい。そんな願いを込めたデザインです。私たちが目指すのは、コンポストを通じて大地へ命を返し、土の中の生態系を豊かに育む循環の未来です。箱を開けるその瞬間が、傷ついた地球を修復し子どもたちの笑顔あふれる未来をつくる「最初の一步」。あなたの手のひらから芽生える小さなわくわくを、地球を再生する大きな力へ。さあ、はじめよう!